

中国・雲南省

プーアル茶の名産地 雲南の人はコーヒーを飲まない？



(左) 昆明市内にあるお茶屋さん。飾り物のように見えるが、黒い部分はすべてプーアル茶の葉っぱで固めている。かなりの高級品。

(上) スーパーの飲み物の棚。コーヒー缶は右上のものだけ。あとは中国製のソフトドリンクのみ。

雲南省といえば、プーアル(普洱)茶。一時期日本でも流行ったお茶ですが、味は苦い。その効能は血圧を下げ、コレステロールと中性脂肪を下げる効果もあり、長期間にわたって飲んでいると心血管疾患の予防にもなります。さらに、便秘の改善や快眠、老化防止などの効果も期待できるのです。

昆明など雲南省各地ではこのプーアル茶の葉っぱを売るお店が数多くあり、省内ではどこでも手に入ります。袋詰や缶詰にされた葉っぱは安く手に入ります。また、丸い円盤型に固められて紙で包まれたプーアル茶は年代ものも多く、年数によって値段が跳ね上がります。熟茶のほうが効能がいいことがわかっているので、こちらの円盤型のほうを買い付けに来る人も多くいるようです。

さて、お茶として有名な雲南ですが、一方でコーヒーはどうなのでしょう。一部の観光地では「雲南コーヒー」とやらを見かけたのですが、こちらは主流ではありません。それどころか、スーパーなどに行ってもコーヒーはほとんど売られていないのが実情です。

雲南省のスーパーでは輸入缶コーヒーが2種類ほど並べられているのみ。日本や東南アジアのスーパーでは缶コーヒーだけでなく、豆や粉などさまざま売られているのとは対照的です。雲南省のスーパーで売られている飲み物はお茶とソフトドリンクが占めるのですが、雲南の人はコーヒーを飲まないのでしょうか。どうもそうらしいのです。

ベトナムやカンボジアに行くと町中に淹れたてのコーヒーを売っているスタンドをよく見かけますが、雲南では淹れたてのコーヒーはマクドナルドや KFC など外資フランチャイズ系のレストランに行かない限り飲むことができません。コーヒースタンドは皆無で、かなり大きい昆明駅でさえも見つけることができませんでした。

スーパーの棚でも町中でもコーヒーをみかけないということは地元の人たちはコーヒーを飲んで楽しまないのでしょう。雲南省でコーヒーを飲むというのはもしかすると日本の茶室でコーヒーを飲むような感覚があるのか、それともお茶を飲むことで雲南人としてのプライドを保っているのかもしれませんが。